

一てきにつまっっている努力

筑波大学附属小学校 四部四年 中野 京子

私は学校の授業で、コンビニなどで売っているペットボトルの天然水と水道水を飲み比べました。もちろん答えを知っているのは先生だけです。みんなでどちらがおいしかを順に言っ ていきました。が、私は値段が高いので天然水の方がおいしいと思っ て、私が選んだ方が天然水だと思っ ていました。しかし、おどろくことにもう一方がペットボトルの天然

水でした。ウラスのほとんどが水道水をおいしいと答えていました。その水道水は、2リットルで、たったの0.2円!! 多くの人においておいしいと言っ てもらえる水道水は蛇口をひねれば出てくるのです。家に帰っ て家族にも試しました。が、やはり水道水の方がやさしい味がすると言っ ていました。

水をていきょうする人達は、こんなに安く大丈夫なのか心配になりました。水道水を調べるためにウラスのみんなまで板橋区にある

三園浄水場に行きました。

浄水場にはとても大きな機械や道具があり、こんなにたくさんの機械を使っているのに水道水は安すぎるのではないかと、さらに心配になりました。中でもすごいと思っただのは、生物活性炭とオゾン接触池の高度浄水処理です。オゾンの泡が有機物をバラバラに分解して生物活性炭で微生物が見えない汚れを食べてくれるそうです。この機械が使えるようになるまでなんと31年も時間がかかったと担当の方が話してくれてビックリしました。色々な施設を見せてもらった後に実際に小さなバコップを使って役わりが分かるように実験してくれたのを見た時に機械の中の様子が分かり、水がきれいになっていく様子を間近で見ることができました。

とてもきれいになっている水ですが、汚れた原水を見た後だと、ドキドキしてコップを持つ手がふるえました。でも、家で飲む水道水はとってもおいしく、31年の努力が伝わる。

てきました。

心配していた予算に関しても、毎日たくせんの人々が一日一人あたり214リットルの水を使っているので、安くても大丈夫なのだそうです。

私たちが毎日のように蛇口から出している水は、たくせんの人達の努力が積み重なって出来ているので、一てき一てきを大切に使用しなければいけない事を忘れないようにしようと思います。これからはお風呂のシャワーを

流しっぱなしにしないように心がけたり、水を飲む時は飲む量だけをつぐようにしようと思います。そうすることで、水道に関わる仕事をしている人に少しでも感謝の気持ちがあつたのではないかと思いました。